



シー・エル・ティー
もり・まち・ひとの交差点

令和4年度 大館市木材利用推進会議

大館市木材利用促進計画の取組み状況について



令和5年3月24日（金）
本庁 会議室402

1. 対象施設毎の工程表の更新について

資料 1 - 1

(別表) 大館市木材利用促進計画、対象施設毎の工程表

計画期間 (R3~R5)
木材使用量

赤字は変更、追加部分

No	施設名	計画 想定木材 使用量 (m ³)	R3,R4 実績木材 使用量 (m ³)	R5 想定木材 使用量 (m ³)	計	施設所管課	完成 (予定)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	扇田駅公衆トイレ	2.3	3.1		3.1	都市計画課	令和3年度	・建築工事			
2	大館第21分団 (土目内) 消防車庫	2.5	3.4		3.4	消防総務課	令和3年度	・実施設計 ・建築工事			
3	比内第5分団 (八木橋) 消防車庫	2.5	3.4		3.4	消防総務課	令和3年度	・実施設計 ・建築工事			
4	大館駅前駐輪場	17.0		17.0	17.0	企画調整課	令和5年度		・建築工事	・建築工事	
5	野遊びSDGs推進 事業キャンプ場	10.0		0.0	0.0	観光課	令和6年度 令和5年度	基本設計 実施設計	・基本設計 ・実施設計 建築工事	・造成工事 設置	・建築工事
6	大館第14分団 (本宮) 消防車庫	2.5	3.4		3.4	消防総務課	令和4年度	・地盤調査 ・消防団 協議等	・実施設計 ・建築工事		

1. 対象施設毎の工程表の更新について

(別表) 大館市木材利用促進計画、対象施設毎の工程表

計画期間 (R3~R5)
木材使用量

赤字は変更、追加部分

No	施設名	計画 想定木材 使用量 (㎡)	R4末 木材使用 量実績 (㎡)	R5 想定木材 使用量 (㎡)	計	施設所管課	完成 (予定)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
7	大館市し尿受入センター ※内装木質化 (事務室/69.6㎡ 117㎡)	-	-	-	-	下水道課	令和5年度	・実施設計 — 建築工事	・建築工事	・建築工事	
8	大館第6分団 (釈迦内ニッ森) 消防車庫	2.5		3.4	3.4	消防総務課	令和5年度		・地盤調査 ・消防団 協議等	・実施設計 ・建築工事	
9	大館第9分団 (羽立) 消防車庫	2.5		3.4	3.4	消防総務課	令和5年度		・地盤調査 ・消防団 協議等	・実施設計 ・建築工事	
10	消防署北分署庁舎	270.0		0.0	0.0	消防総務課	令和6年度	・地盤調査 — 基本設計 — 実施設計	・基本設計 ・実施設計	・建築工事	・建築工事
11	大館第9分団 (餅田) 消防車庫	2.5		0.0	0.0	消防総務課	令和6年度			・地盤調査 ・消防団 協議等	・実施設計 ・建築工事
12	大館市斎場	225.0		0.0	0.0	市民課	令和7年度	・測量 ・地盤調査	・基本設計	・実施設計	・造成工事 ・建築工事

1. 対象施設毎の工程表の更新について

(別表) 大館市木材利用促進計画、対象施設毎の工程表

計画期間 (R3~R5)
木材使用量

赤字は変更、追加部分

No	施設名	計画 想定木材 使用量 (㎡)	R4末 木材使用 量実績 (㎡)	R5 想定木材 使用量 (㎡)	計	施設所管課	完成 (予定)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
13	子どもの遊び場 ※内装木質化(休憩 室、事務室ほか /110.7㎡)	-	3.5			子ども課	令和4年度	・実施設計	・建築工事		
14	下川沿駅公衆トイレ	2.3	3.6		3.6	都市計画課	令和4年度	・実施設計	・建築工事		
	合計	541.6	20.4	23.8	44.2						

住宅・非住宅 計画期間内 (R3~R5) 木材使用量

	計画値 (㎡)	実績値 (㎡)	件数 ※3
令和3年度	170.0	284.3	27
令和4年度	170.0	184.6	22
令和5年度	170.0	170.0 ※2	
計	510.0 ※1	638.9	

※1 大館市秋田杉集成材等需要拡大事業 (H17~R1) における補助対象木材の年度平均使用量×3年分

※2 R5は計画値と同等と見込む

※3 ウッド・チェンジ推進事業申請件数

2. 令和5年度以降の木材利用促進計画に基づく公共建築物の整備について

資料1-2

項目	①野遊びSDGs推進事業キャンプ場（観光課）
延床面積	<ul style="list-style-type: none"> ・五色湖ロッジ改修 300㎡ ・キャンプ場内サニタリー棟 40.2㎡ ・木造トレーラーハウス 10棟 148.5㎡ ・多目的運動広場内サニタリー棟 40.2㎡
構造	<ul style="list-style-type: none"> ・五色湖ロッジ 木造2階建て ・サニタリー棟整備 ・木造トレーラーハウス整備
事業費及び財源	600百万円 地方創生推進交付金、過疎債
木材利用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・五色湖ロッジ 1F改修、ウッドデッキ ・キャンプ場エリアでは自然の景観を損なわないよう再生木を使用 ・自然との調和を考慮した木製（檜製）のトレーラーハウス整備
木材使用量 (計画)	78.8m ³
CLT使用	—
木質バイオマス	—
スケジュール	<p>R3 基本構想策定</p> <p>R4 基本設計、実施設計</p> <p>R5 キャンプ場、多目的運動広場造成工事</p> <p>R6 ロッジ改修工事、サニタリー棟建築工事、トレーラーハウス整備、運営開始</p>
その他	

2. 令和5年度以降の木材利用促進計画に基づく公共建築物の整備について

資料1-2

項目	②消防署北分署庁舎（消防総務課）
延床面積	庁舎 993.6㎡
構造	鉄筋コンクリート造2階建て
事業費及び財源	545百万円 合併特例債
木材利用方針	建築物の構造について木造を中心に検討したが、大地震等の災害後においても構造体の大きな補修をすることなく防災拠点としての機能を継続できるよう耐震性、耐久性及び耐火性等に優れている鉄筋コンクリート造にすることとした。木材は内装（風除室、玄関ホール、天井、ドア等）に使用する。
木材使用量 (計画)	1m ³
CLT使用	—
木質バイオマス	—
スケジュール	R2 基本構想 R3 不動産鑑定、測量、地質調査、用地取得 R4 基本設計、実施設計、用地取得 R5 建築工事 R6 建築工事、工事完成 R7 4月開設
その他	・大館市地域防災計画では消防分署は防災上重要な施設となっており、耐震性では重要度係数Ⅱ類に分類されている。

2. 令和5年度以降の木材利用促進計画に基づく公共建築物の整備について

資料1-2

項目	【参考】 ③比内総合支所ペレットボイラー（比内総合支所）
概要	比内総合支所の暖房用として 新たに木質ペレットボイラーを導入する
事業費及び財源	149百万円 合併特例債、一般財源
木材利用方針	市が令和3年2月に「ゼロカーボンシティ」を宣言したこと、並びに木材利用推進の観点から、既存の灯油ボイラーから環境に配慮したバイオマス燃料の使用を視野に空調熱源の比較検討を実施し、CO2排出量が最も少ないペレットボイラーの導入を決定した。
木材使用量 (計画)	木質ペレット 年間 170 t 使用見込み
CLT使用	—
木質バイオマス	木質ペレット
スケジュール	R4 空調熱源の比較検討、実施設計 R5 建屋建築工事（8月）、熱源機器搬入取付（10月）、稼働開始（12月）
その他	

3. 計画に対する施策の到達状況について

資料 1 - 3

目標項目	到達点・目標値	到達状況						
①計画対象公共施設の 木造率及び木質化率	木造率100% 内装等の木質化率100%	<ul style="list-style-type: none"> ●木造化 <ul style="list-style-type: none"> ・扇田駅公衆トイレ ・大館第21分団（土目内）消防車庫 ・比内第5分団（八木橋）消防車庫 ・大館第14分団（本宮）消防車庫 ・下川沿駅公衆トイレ ●内装等の木質化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て拠点施設（子どもの遊び場） . . . 未達 						
②市産木材使用量割合	計画対象公共施設1施設あたりの 木材使用量の50%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・扇田駅公衆トイレ ・大館第21分団（土目内）消防車庫 ・比内第5分団（八木橋）消防車庫 ・大館第14分団（本宮）消防車庫 ・下川沿駅公衆トイレ ・地域子育て拠点施設（子どもの遊び場） 						
③市産原木入荷割合	市内製材所における原木入荷量に 占める入荷割合50%以上	<p>◎令和3年度実績</p> <p>市内製材所原木入荷量 96,065m³ うち市産原木入荷量 35,047m³ . . . 36%</p>						
④二酸化炭素固定量の 増加	計画期間満了時の二酸化炭素固定量 316t-CO ₂ 以上 (木材使用量換算約550m ³) ※計画策定時は公共施設及び住宅・非住宅での 木材使用量のみで固定量を算定していたが、 土木工事等（残存型木材型枠工）においても 炭素固定が図られている →	<ul style="list-style-type: none"> ●二酸化炭素固定量 =①木材使用材積量×②容積密度×③炭素含有率×④二酸化炭素換算係数 ◎計画期間満了時見込み ①683.1m³×②0.314（スギ）×③50%×④44/12 = 393.2 t -CO₂ ●計画期間木材使用量（見込み） <table border="0"> <tr> <td>計画対象（公共施設）</td> <td>44.2m³</td> </tr> <tr> <td>計画対象（住宅・非住宅）</td> <td>638.9m³</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>683.1m³</td> </tr> </table> <p>【参考】土木事業等（残存型木製型枠） 338.6m³=194.9t-CO₂</p>	計画対象（公共施設）	44.2m ³	計画対象（住宅・非住宅）	638.9m ³	計	683.1m ³
計画対象（公共施設）	44.2m ³							
計画対象（住宅・非住宅）	638.9m ³							
計	683.1m ³							

目標項目	到達点・目標値	到達状況												
<p>⑤二酸化炭素削減量の増加</p>	<p>計画期間中の二酸化炭素削減量 3カ年平均420 t-CO₂/年以上 (ペレット使用量換算約310 t/年)</p> <p>※市公共施設における木質ペレットストーブ等の活用による二酸化炭素削減量 (t-CO₂/年) =木質ペレットが使用されていなければ消費されていたと考えられる化石燃料起源のCO₂排出量</p>	<p>●二酸化炭素削減量 (t-CO₂/年) =①木質ペレット使用量×②熱量比×③発熱量×④CO₂排出係数×⑤ボイラー効率比</p> <p>①木質ペレット使用量：市の公共施設に設置されたボイラー等で1年間使用された木質ペレットの重量 (t/年) ②熱量比：木質ペレットの総熱量に占める間伐材等の熱量の割合 (0 < a < 1) = 「1.0」で設定。 ③発熱量：木質ペレットの単位発熱量 (GJ/t) = 「20GJ/t」で設定。 ④CO₂排出係数 (t-CO₂/GJ) = 「0.0687 t-CO₂/GJ (灯油)」で設定。 ⑤ボイラー効率比 (木質ペレット使用時の燃焼効率/化石燃料使用時の燃焼効率) = 「1.0」で設定。</p> <p>◎令和3年度実績 (市公共施設8施設) ①478.0 (t/年) × ②1.0 × ③20GJ/t × ④0.0687t-CO₂/GJ (灯油) × ⑤1.0 = 656 t -CO₂/年</p>												
<p>⑥木育インストラクターの人数</p>	<p>大館市木育インストラクター養成者数 160人以上</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>R1実績</th> <th>R2実績</th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5計画</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40人</td> <td>27人</td> <td>38人</td> <td>25人</td> <td>30人</td> <td>160人</td> </tr> </tbody> </table>	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	計	40人	27人	38人	25人	30人	160人
R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	計									
40人	27人	38人	25人	30人	160人									

木を守る。木を生かす。

HASEMAN

連携内容：顔の見える木材での快適空間づくり事業

DLT Dowel Laminated Timber



秋田スギ AKITASUGI



DLT試作①

**DLTブース
(打合せスペース)**

DLT試作②

**DLTモクキューブ
(WEB会議専用)**

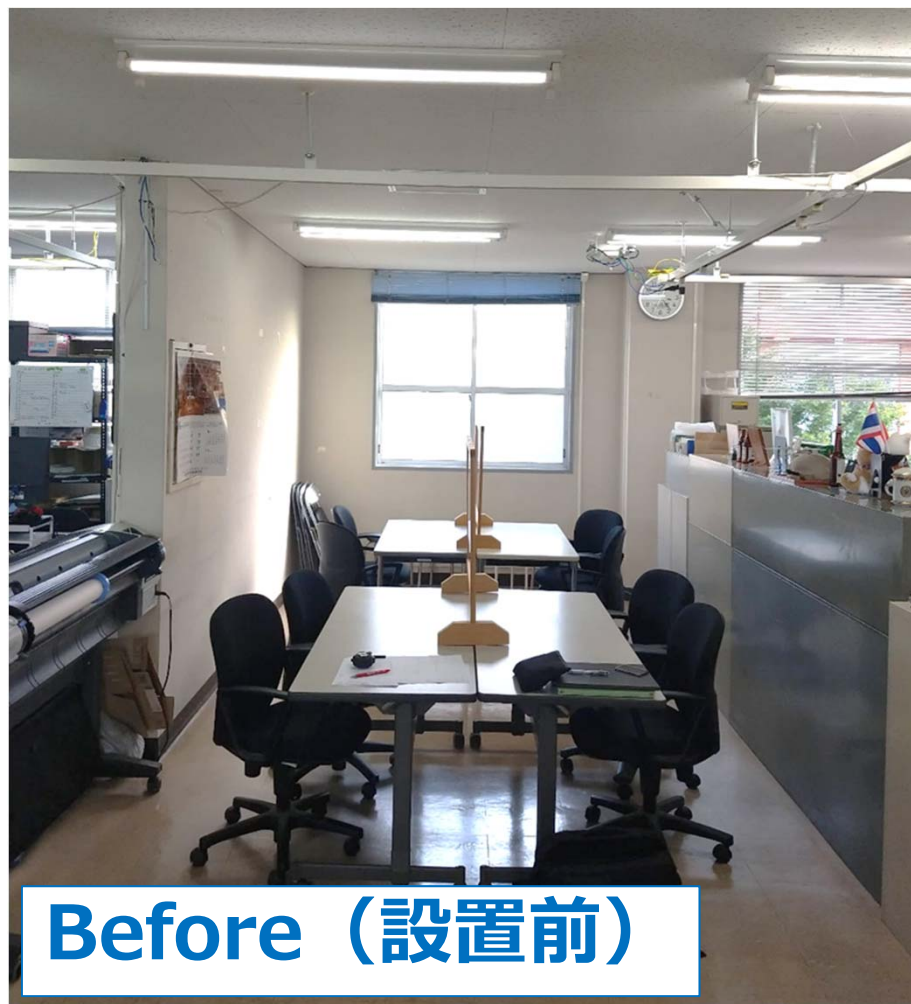


木を守る。木を生かす。

HASEMAN

連携内容：顔の見える木材での快適空間づくり事業

大館市役所三ノ丸庁舎2F（秋田県大館市） 秋田スギDLTブース設置



木を守る。木を生かす。

HASEMAN

連携内容：顔の見える木材での快適空間づくり事業

大館市役所三ノ丸庁舎2F（秋田県大館市） 広葉樹DLTテーブル・スツール設置



広葉樹DLTテーブル（市産ナラ・クリ・ヤマザクラ使用）

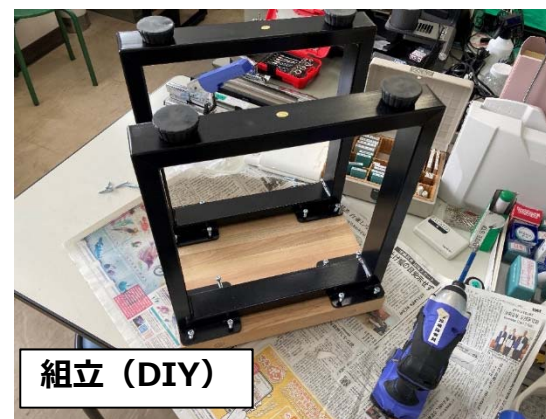


広葉樹DLTスツール（市産ナラ・クリ・ヤマザクラ使用）



林政課長

組立（DIY）



組立（DIY）

木を守る。木を生かす。

HASEMAN

連携内容：顔の見える木材での快適空間づくり事業

大館市役所三ノ丸庁舎 2F（秋田県大館市）

秋田スギDLTモクキューブ設置



Before（設置前）



After（設置後）

大館市有林における森林認証（SGEC-FM）の取得

- 認証日** 令和5年1月11日
- 認証面積** 2,295.61ha(大館市有林)
- 認証種類** FM(Forest Management)認証
- 認証機関** (公財)日本適合性認定協会(JAB)
- 審査機関** SGSジャパン株式会社
- 審査日** 第1段階審査：
令和4年10月19日

第2段階審査：
令和4年11月21日～22日

秋田県内で最大級の森林認証面積

秋田県有林：約1,895ha、上小阿仁村有林：1,974ha※2023年3月現在



審査登録証

森林認証材の拡大に向けた動き（協議会：森林認証材SC構築WG）

①協議会においてSGEC-FM森林認証グループ認証取得を予定

- ・大館市有林（約2,295ha）、小坂町有林（約117ha）、(株)石川組社有林（約410ha）で令和5年度にSGEC-FM森林認証グループ認証取得を計画

②鹿角市においてSGEC-FM森林認証を予定

- ・鹿角市有林（約1,164ha）で令和5年度にSGEC-FM森林認証取得を計画

③国有林（米代東部森林管理署/10.1万ha）へ森林認証取得を要望

- ・令和4年度秋田県国有林野等所在市町村長有志協議会（10月18日）において、大館市より国有林に対し、森林認証の取得を要望

（国回答※抜粋）⇒国有林においては、地域において認証材の流通拡大を図る方針があり、こうした方針と協調して取り組むことが不可欠である場合等に限り、地域の要請を踏まえ、地域の民有林と連携して認証を取得している。



市町村長有志協議会（秋田市／イヤタカ）

事業名：選手村ビレッジプラザ提供木材再加工及び木育空間整備業務



ビレッジプラザ内観



大館市焼印



施設解体後、
レガシー活用へ!!!



大館樹海ドームパーク



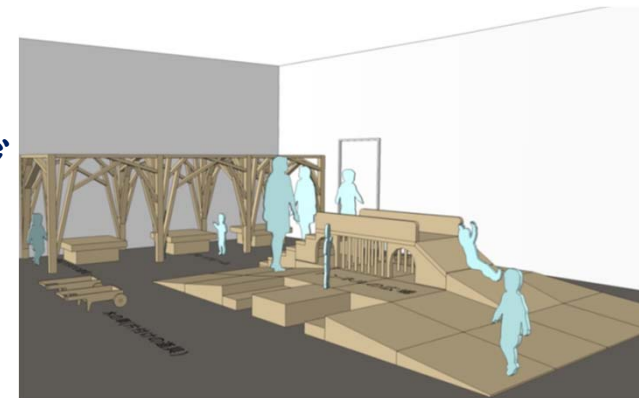
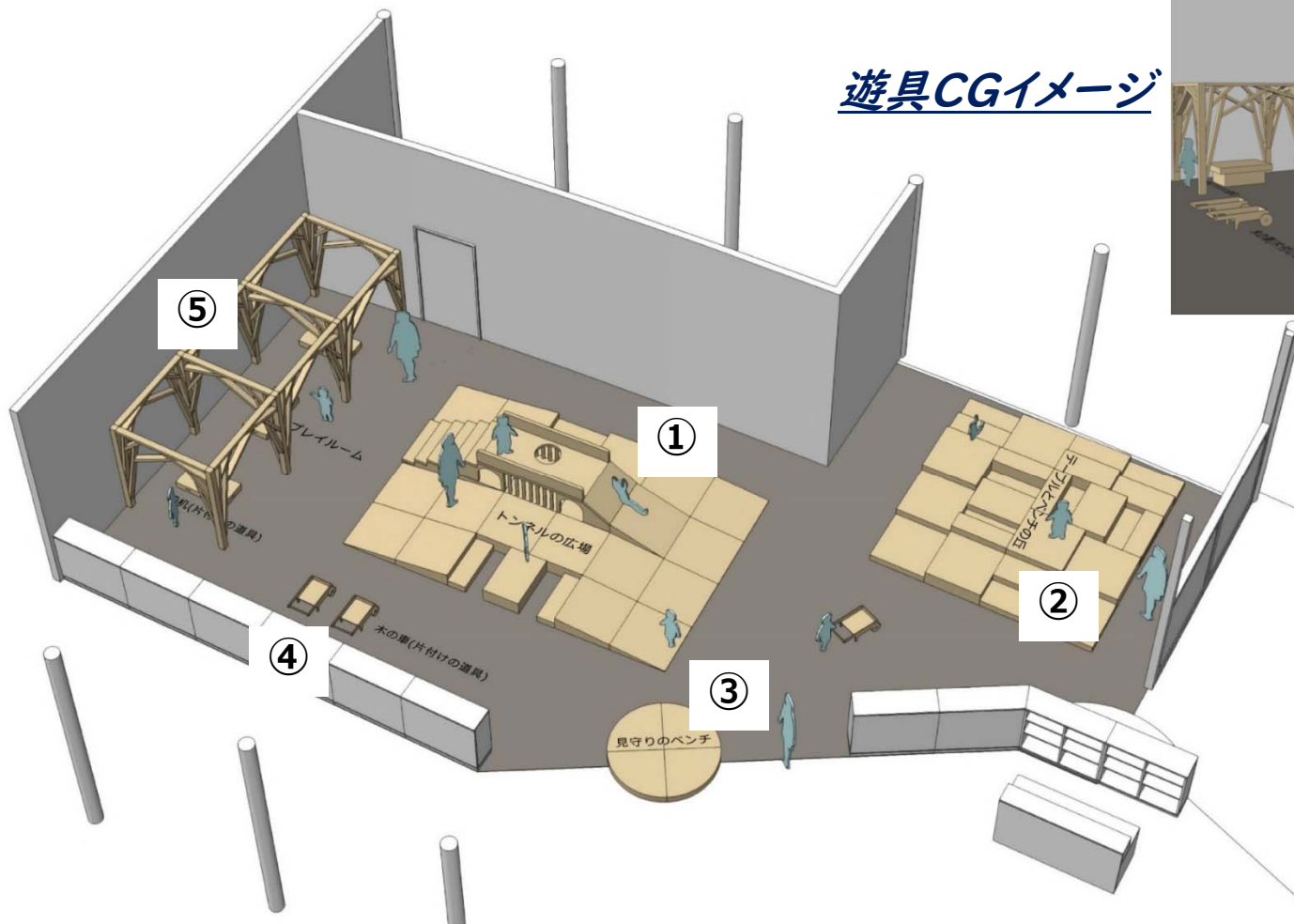
パークセンター内観（整備前）

事業名：選手村ビレッジプラザ提供木材再加工及び木育空間整備業務

委託先：秋田公立美術大学（秋田市）

制作協力：(有)萩原製作所（秋田市）、(株)県北パネル（能代市）、藤島木材工業(株)（北秋田市）
HOLTO（北秋田市）、fuuukei（由利本荘市）

遊具CGイメージ

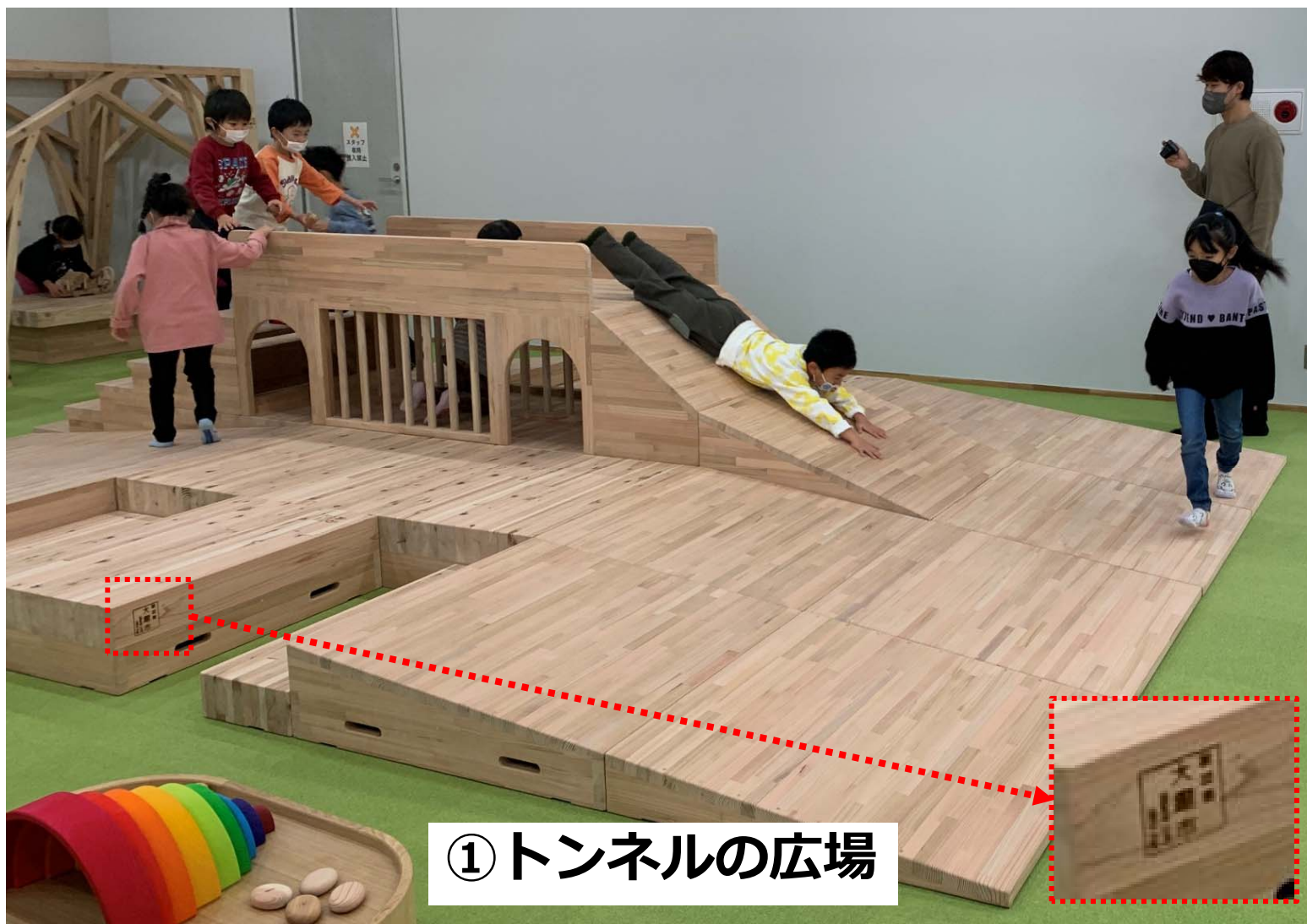


制作遊具：

- ① トンネルの広場
- ② テーブルとベンチの丘
- ③ 見守りのベンチ
- ④ 木の車
- ⑤ プレイルーム

事業名：選手村ビレッジプラザ提供木材再加工及び木育空間整備業務

「子どもの遊び場オープニングセレモニー」12月22日（木）



① トンネルの広場

事業名：選手村ビレッジプラザ提供木材再加工及び木育空間整備業務

「子どもの遊び場オープニングセレモニー」12月22日（木）

②テーブルとベンチの丘



④木の車

事業名：選手村ビレッジプラザ提供木材再加工及び木育空間整備業務

「子どもの遊び場オープニングセレモニー」12月22日（木）



世界の選手たちを支えた木材が、次世代を育む遊具に生まれ変わりました

秋田スギコースタープレゼント状況
目指せ！全国47都道府県制覇！
(26/47都道府県/R5.3.24現在)



秋田スギコースタープレゼント状況 ～海外編～

